

厚 木 市 消 防 審 議 会 次 第

日 時 令和 7 年 3 月 13 日 (木)
午後 3 時 30 分から
場 所 消防本部 3 階会議室

1 挨拶

2 議題

(1) 令和 6 年中の厚木市の火災と救急の概要について【資料 1】

(2) 令和 7 年度当初予算（消防本部の主要事業）について
【資料 2】

(3) 厚木消防署本署再整備の方向性(案)について 【資料 3】

(4) その他

3 その他



未来へ一歩 つながる あつぎ70年
令和 7 年 2 月 1 日は、厚木市制 70 周年記念日です。

《火災件数は、前年と比較して 6 件減少》

令和 6 年中の火災件数は 53 件で、前年に比べ 6 件減少となっています。

火災件数の種別ごとの内訳は、建物火災が 20 件（全火災の 37.7%）、河川敷の枯草などが燃えたその他の火災が 24 件（45.3%）、車両火災が 8 件（15.1%）、林野火災が 1 件（1.9%）となっており、前年と比較すると建物火災は 8 件減少、林野火災は 2 件減少、車両火災は 3 件増加、その他火災は 1 件増加となります。

火災発生原因別では、放火、たばこ、たき火が上位を占めており、空気が乾燥する 1 月から 3 月に 16 件（30.2%）火災が発生しました。

冬季を中心に火災の発生件数が増加する傾向にあるため、巡回広報等を強化するとともに、様々な機会を捉えて情報を発信して防火対策を推進し、「火災のない安心・安全なまちづくり」を目指します。

1 火災種別死傷者発生調

火災種別 死傷者等		建 物	林 野	車 両	その他	合 計
令和 6 年	件 数	20	1	8	24	53
	死 者	0	0	0	2	2
	負傷者	3	0	0	3	6
令和 5 年	件 数	28	3	5	23	59
	死 者	1	0	0	1	2
	負傷者	6	0	0	1	7
比 較	件 数	－8	－2	＋3	＋1	－6
	死 者	－1	0	0	＋1	±0
	負傷者	－3	0	0	＋2	－1

2 火災発生原因別調

区分 年別															合 計
	たばこ	たき火	火遊び	こんろ	放火	放火の疑い	風呂かまど	ストーブ	マッチ・ライター	煙突・煙道	電灯・電話等の配線	配線器具	その他	不明・調査中	
令和 6 年	5	5	1	1	11	3	－	1	1	1	1	2	19	2	53
令和 5 年	5	4	3	5	12	2	－	1	1	－	5	1	19	1	59
比較	±0	＋1	－2	－4	－1	＋1	±0	±0	±0	＋1	－4	＋1	±0	＋1	－6

確定値が出るのは、
2月中旬から下旬になります。

令和6年中の厚木市の火災と救急の概要について

《救急件数は、前年と比較して1,030件(7.5%)増加》

令和6年中の救急出動件数は14,739件で、前年に比べ1,030件(7.5%)の増、搬送人員は12,944人で、前年に比べ960人増となり、1日当りの平均出動件数は40.3件、搬送人員は35.4人で、これは約35.8分に1回の割合で救急車が出動したことになります。

事故種別ごとの出動件数は、急病が9,858件で全体の66.9%を占め、次いで転倒などの一般負傷が2,086件で全体の14.2%、交通事故が962件で全体の6.5%の順になっています。

派遣型救急ワークステーションにより、医師が同乗し出動した件数は170件となり、医師による迅速な医療行為が行われました。

これまで過去最多の出動件数だった令和5年の年間13,709件を上回る件数となりました。

救急件数の増加の要因として、高齢化の進展や猛暑による熱中症などによる搬送が増えたことが考えられます。

救急件数等

区分 年別	救急件数	搬送人員	救急ワークステーション 医師同乗出動件数
令和6年	14,739	12,944	170
令和5年	13,709	11,984	143
比較	1,030	960	24

救急種別 件数等		急病	一般負傷	交通	その他	合計
令和6年	件数	9,858	2,086	962	1,833	14,739
	搬送人員	8,780	1,923	938	1,303	12,944
令和5年	件数	9,173	1,953	936	1,647	13,709
	搬送人員	8,090	1,789	899	1,206	11,984
比較	件数	685	133	26	186	1,030
	搬送人員	690	134	39	97	960

問い合わせ 救急救命課 電話 (046) 223-9365

1 消防体制の充実

激甚化・頻発化する自然災害や都心南部直下地震等の大規模災害に迅速・的確に対応し、災害から命と暮らしを守り抜くまちの実現を目指すため、消防・防災の拠点施設である厚木消防署本署庁舎の建て替えを推進するほか、災害対応の中核を担う高機能消防指令センターの設計や最新鋭の消防車等を整備するとともに、地域防災の要である消防団の活動環境の充実を図る。

（拡大）厚木消防署本署庁舎整備検討事業費 5,651千円

厚木消防署本署庁舎については、昭和47年に竣工、築52年が経過し、老朽化や車庫の狭隘化など機能面に課題があることから、新たな消防防災の拠点施設として機能を確保するため、現在地での建て替えに向け、庁舎敷地測量等を実施する。



（継続）緊急消防援助隊活動事業費 2,880千円

令和6年能登半島地震への緊急消防援助隊派遣による教訓を踏まえ、過酷な環境下での長期に及ぶ災害活動に備えるため、必要な消防資機材の整備を行い、本市での災害対応を始め、緊急消防援助隊としての強化を図る。



(新規) 高機能消防指令センター整備事業費

16,197千円

現在の高機能消防指令センターは、平成28年度から運用を開始しており、耐用年数から更新が必要なることから、複合施設への移転を見据え、新たな高機能消防指令センターの整備に向けた設計委託を行う。



(拡大) 通信指令関係事業費

64,850千円

高機能消防指令センターの的確な運用を図るため、通信指令機器等の適正な維持管理を行うとともに、新たに、スマートフォン等を活用した119番映像通報システムを導入し、救命率の向上と災害対応力の強化を図る。



2 救急体制の充実

高齢化の進展や社会情勢等の変化により、増加する救急需要に対応するため、引き続き、応急手当の普及啓発を推進するとともに、医療機関と連携した救急医療サービスが提供できるよう、救急体制の強化を図る。

（継続）救急推進事業費

21,715千円

救急需要は増加していることから、限られた救急資源を有効に活用し、救急車の適正利用や応急手当の普及啓発を推進するとともに、高度な医療処置ができる救急救命士の計画的な育成を図り、医療機関と連携した迅速・的確な救急医療サービスの提供を行う。



3 火災予防対策の推進

火災は、様々な要因や不注意などにより発生することから、市民の防火意識を更に啓発し、住宅防火対策を推進するとともに、事業所等への立入検査を強化し、防火管理体制の充実を図る。また、電子審査の機器を導入し、電子申請の拡充を図り、火災予防分野におけるDXを推進していく。

（新規）火災予防デジタル機器整備事業費

1,697千円

市民や事業所関係者が場所や時間にとらわれずに火災予防分野の行政手続きが行える電子申請の範囲を拡充するとともに、新たに、電子図面データ等の審査を行うデジタル環境を整備し、火災予防分野におけるDXを推進することで、消防事務の効率化を図る。



厚木消防署本署再整備の方向性（案）について

1 再整備の必要性

現在の厚木消防署本署（以下「厚木本署」という。）は、昭和 47 年に竣工し、築 50 年以上経過しており、市内の消防署所において、最も古い消防庁舎です。

近年は、老朽化による経年劣化が進んでいるほか、車庫の狭あい化や出動動線等の機能面に課題があります。

また、近年は、災害が全国的に頻発化・激甚化しており、近い将来、発生が危惧されている大規模地震などを考慮すると、市民の安心・安全の要となる本市の消防・防災拠点である消防庁舎の再整備は喫緊の課題となっており、厚木市公共施設個別施設計画においても、適正な規模での建て替えを行うことを位置付けています。

2 厚木本署の概要

昭和 47 年 7 月に供用を開始した厚木本署は、消防本部 5 係及び厚木消防署として、第一警備隊、第二警備隊が配置されていました。

現在は、複雑多様化する各種災害や夏季における猛暑日の増加、高齢化の進展等による救急需要の増加など、消防を取り巻く環境の変化に対応すべく、救急隊の増隊や特殊車両の配置など、時代の変遷とともに、消防体制の充実を図ってきました。

このような状況の中、本市の総合的な災害対応力の更なる強化を図るため、消防総務課、警防課、指令課、予防課及び救急救命課の消防本部機能は、令和 9 年度に図書館、（仮称）未来館、市庁舎等で構成する複合施設（以下「複合施設」という。）へ移転する計画となっています。

所 在 地	厚木市寿町 3 丁目 4 番 10 号	
敷 地 面 積	2,248.23 m ²	
竣工年月日	昭和 47 年 7 月 1 日	
建 築 概 要	本署庁舎 R C 造 3 階建て 延床面積 2,070.18 m ²	1 階 車庫、待機室、管理課等 2 階 本部執務室、指令センター 災害対策室、消防長室、仮眠室等 3 階 会議室、救急救命課、仮眠室等
	自動車車庫 S 造 2 階建て 延床面積 160.06 m ²	1 階 車庫、倉庫 2 階 倉庫
	訓練塔 R C 造 3 階建て 延床面積 50.80 m ²	高さ 13.25m

3 厚木本署の課題

(1) 庁舎の老朽化

厚木本署は、供用開始から 52 年が経過し、消防署所の中で最も古い消防庁舎です。

平成 12 年度には耐震補強工事を施工しているものの、天井や壁からの漏水が散見されますが、損傷個所の特定が難しく応急的な修繕で対応しています。

(2) 車庫の狭あい化

現在、厚木本署には、はしご車や救助工作車等の大型車両も含め、11 台が配置されていることから、車庫が狭あい化しており、有効な車両間隔が確保できないことから、地震の横揺れなどにより、車両同士が接触してしまうことが考えられます。

(3) 出動時の支障となるレイアウト及び狭あいな執務空間

厚木本署は、耐震補強工事の際、車庫へ通じる開口部に耐震補強壁が設置されたことにより、迅速な動線が確保されていない状況です。

また、職員の増員に伴う仮眠室の増設など、必要な改修などを行ってきましたが、消防業務を遂行する上での執務環境を整えるための収容能力には限界がある状況です。

4 再整備の適地選定について

(1) 消防署所の適正配置調査について

厚木本署は、平成 28 年度に実施した厚木市消防本部消防力適正配置調査（以下「適正配置調査」という。）において、市内の消防署所の配置状況から、比較的良好な場所に配置されているという結果が示されています。

(2) 再整備の候補地について

厚木本署の建て替えの候補地については、厚木市公共施設個別施設計画の中でも、中心市街地の市有地を優先的な候補地として検討することと位置付けられていることから、次頁以降の検討案 1 から検討案 3 までの 3 つの市有地や県有地を選定し、検討を行いました。

検討案 1 厚木本署を現在地で建て替え



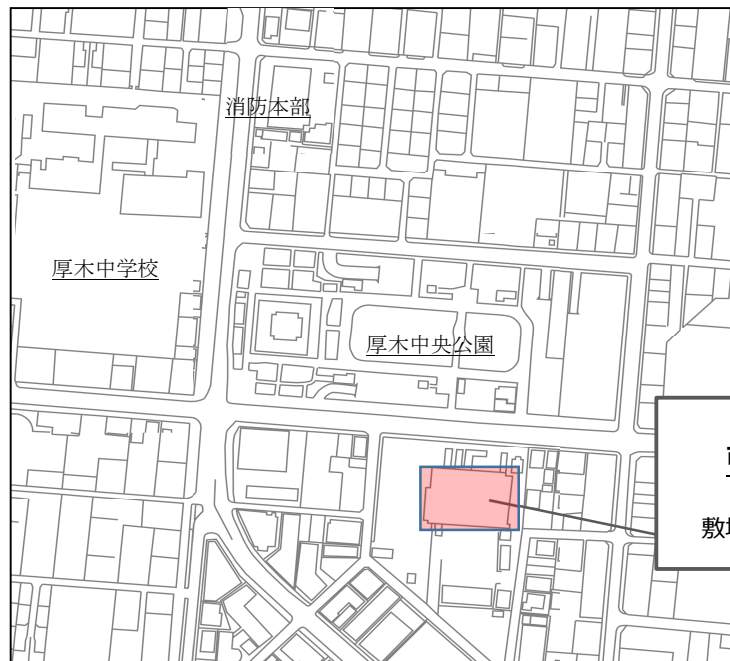
厚木消防署本署（現在地）

敷地面積（土地）：2,248 m²

延床面積（既存）：2,281 m²

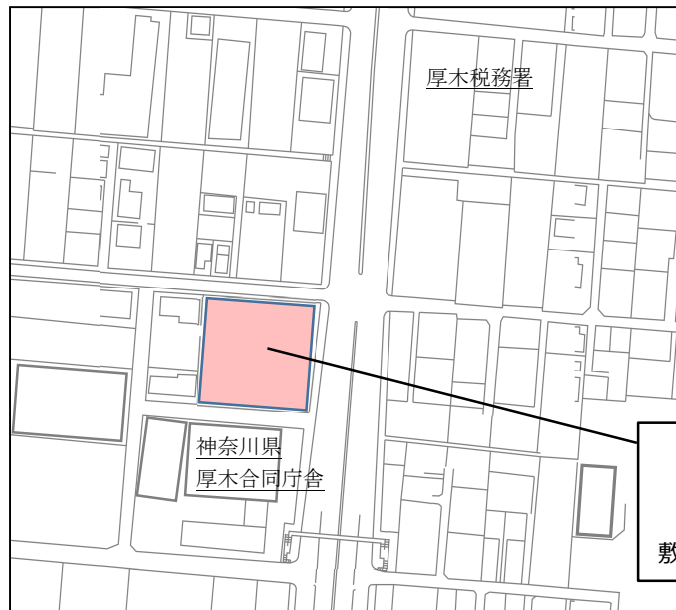
項目		評価	備考	
政策面での評価	建設用地の確保	○	市有地のため確保済み	
	近隣住民の合意形成	○	現在地のため理解を得られやすい	
	厚木本署の運用効果	○	現状と変わらず消防・救急需要に対応可能	
	中心市街地の回遊性向上やにぎわい創出への影響	○	影響なし	
	建て替えの可否	○	市街化区域（第1種住居地域）のため	
コスト	用地取得費	不要	建設費	必要
	現本署の解体費	必要	現本署の土地売却	不可
	仮庁舎の改修費	必要	総合評価	○
検討・評価	① 厚木本署は、建設から約50年もの間、地域に根差していることから、建て替えへの近隣住民の合意形成については、他の候補地と比較し、理解を得やすい。 ② 現在地での建て替えであることから、適正配置調査において検討した厚木本署の運用効果を現状と変わらず維持することが可能です。 ③ 建設期間中の仮庁舎が必要であることから、検討案2・3と比較して、仮移転が必要であり、その場合は、仮庁舎の改修費用や賃借費用を要します。 また、仮移転に関しては、市有地のほか、国有地や県有地を活用します。			

検討案2 市役所本庁舎跡地へ移転して建て替え



項目		評価	備考	
政策面での評価	建設用地の確保	○	市有地のため確保済み	
	近隣住民の合意形成	△	現厚木本署と比較して理解を得にくい	
	厚木本署の運用効果	○	現状と変わらず消防・救急需要に対応可能	
	中心市街地の回遊性向上やにぎわい創出への影響	×	周辺施設との一体的な活用による相乗効果が期待できない	
	建て替えの可否	○	市街化区域（商業地域）のため	
コスト	用地取得費	不要	建設費	必要
	現本署の解体費	必要	現本署の土地売却	可能
	仮庁舎の改修費	不要	総合評価	△
検討・評価	① 本厚木駅北口周辺のにぎわい創出や歩いて楽しいまちの実現には適さない施設です。 ② 救急出動が多い消防署への建て替えに対する近隣住民の合意形成については、理解を得られない可能性があります。 ③ 適正配置調査において検討した厚木本署の運用効果を現状と変わらず維持することが可能です。 ④ 建設期間中の仮庁舎を必要としないことから、仮庁舎の改修費用や賃借費用が不要です。			

検討案3 旧厚木警察署跡地へ移転して建て替え



旧厚木警察署跡地

敷地面積（土地）：2,354 m²

項目		評価	備考	
政策面での評価	建設用地の確保	△	県有地につき県の合意が必要	
	近隣住民の合意形成	△	現厚木本署と比較して理解を得にくい	
	厚木本署の運用効果	×	出動動線に支障あり	
	中心市街地の回遊性向上やにぎわい創出への影響	○	影響なし	
	建て替えの可否	○	市街化区域（商業地域）のため	
コスト	用地取得費	必要	建設費	必要
	現本署の解体費	必要	現本署の土地売却	可能
	仮庁舎の改修費	不要	総合評価	△
検討・評価	① 旧厚木警察署跡地は、県の所有地であり、隣接する厚木合同庁舎は、複合施設へ移転することから、厚木合同庁舎も含めた県の活用方針が決定しない限り、当該地のみの取得は困難です。 ② 救急出動が多い消防署への建て替えに対する近隣住民の合意形成については、理解を得られない可能性があります。 ③ 適正配置調査において、旧厚木警察署跡地付近が最適な配置場所と示されているものの、国道の中央分離帯により市南部方面への出動については、支障があります。 ④ 建設期間中の仮庁舎を必要としないことから、仮庁舎の改修費用や賃借費用が不要です。			

5 候補地の評価について

検討案1の現在地は、緊急自動車に必要な出動動線が確保されており、迅速な出動が可能です。

検討案2の本庁舎跡地へ移転する場合は、消防施設との一体的な活用による周辺エリアのにぎわいや価値向上の相乗効果が期待できず、また、厚木市本庁舎敷地跡地等活用検討委員会からは、庁舎跡地へ多面的な機能を有するアリーナなどの導入について提言を受けています。（令和6年4月）

検討案3の県有地の用地を取得して移転する場合は、隣接する県厚木合同庁舎は、複合施設へ移転することから、厚木合同庁舎も含めた県の活用方針が決定しない限り、当該地のみの取得は困難です。

6 再整備の場所について

適正配置調査及び厚木市公共施設個別施設計画を踏まえ、候補地を検討した結果、検討案1の現在地での建て替えが最適であると判断します。

7 再整備期間中の仮移転について

現在地での建て替えは、現庁舎を解体する必要があるため、建て替え期間中は、厚木本署の庁舎として使用できません。このことから、仮庁舎を確保し、厚木本署機能を維持する必要があるため、市内の消防署所へ厚木本署機能の分散配置や仮庁舎として周辺公共施設の利活用することについて検討しました。

(1) 消防署所への分散配置について

厚木本署管内に一定の消防・救急需要があることから、厚木本署機能を市内の消防署所へ分散することは、中心市街地への到着の遅延が懸念され、市民の安心・安全を確保する観点から難しいものと考えられます。

(2) 周辺公共施設の利活用について

厚木本署機能を厚木本署管外に分散配置せず、かつ、仮庁舎のコストを可能な限り低減するため、周辺の公共施設の利活用について検討しました。

ア ハローワーク厚木の活用について

厚生労働省神奈川労働局が所管するハローワーク厚木は、複合施設へ機能移転することから、跡地の活用が可能となります。

このことから、中心市街地の消防・救急需要に的確に対応するため、ハローワーク厚木跡地に消防隊や救急隊などを配置し、消防力の機能維持を図ります。ただし、駐車場が狭あいで、救助工作車やはしご車等の大型消防車両が駐車できません。

イ 厚木市環境センターの活用について

厚木市環境センター（以下「環境センター」という。）は、新ごみ中間処理施設の稼働に伴い、管理棟の一部を仮庁舎として使用することが可能となります。

このことから、中心市街地はもとより、市内全域への迅速な出動が可能

となる厚木本署管内に位置する環境センターの一部を指揮隊、高度救助隊の仮庁舎として運用し、消防力の機能維持を図ります。

仮移転先	ハローワーク厚木	環境センター
配置目的	中心市街地の消防・救急需要に的確に対応するため、消防隊や救急隊などを配置する。	消防力の機能維持を図るため市内全域に出動する指揮隊、高度救助隊を配置する。
部隊等	消防隊 消防ポンプ自動車 1 台 救急隊（3 隊） 高規格救急自動車 3 台	指揮隊 指令車 1 台 高度救助隊 救助工作車 1 台 はしご車 2 台 水難救助車 1 台

8 事業手法について

本市では、事業費総額が 10 億円以上の公共施設の整備について、厚木市 PPP/PFI 手法導入の優先的検討に関する要綱に基づき、PPP/PFI 手法の導入を優先的に検討することを定めています。厚木本署の建て替えに当たっては、事業費総額が 10 億円以上となる見込みであることから、同要綱に基づき、最適な事業手法を検討します。

9 今後のスケジュールについて

年度	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13
新築関係	測量		基本・実施設計 地盤調査		新築工事		供用開始
解体関係	アスベスト調査	解体設計		解体工事			
仮庁舎関係 ハローワーク 厚木	借用協議		改修工事		仮移転		原状回復
仮庁舎関係 環境センター					仮移転		
市民参加手続 再整備方針策定	● 6 月消防審議会・8 月パブリックコメント ● 9 月再整備方針策定						

※現在地での建て替えを想定し、従来手法で再整備を行った場合のスケジュール